【事業計画書添付書類様式１】

事業計画書

**１　交付対象者の概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者名 | 住　所 | 〒  |
|
| (ふりがな) |  |
| 名称 |  |
| 従業員数 |  | 人 | 直近の売上高 |  | 千円 | 資本金 |  | 千円 |
| 事業内容 |  |

**２　事業区分（※については選択してください。）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中小企業者事業※ | 地域資源活用事業A | 地域資源活用事業B |
| 地域資源の名称 |  | 地域資源の地域 |  |
| 和歌山県が指定した地域資源の活用の有無※ | 有 | 無 |

**３　事業の要約**

|  |
| --- |
| 新規性・革新性 |
|  |
| 事業計画の熟度 |
|  |
| 経営体制 |
|  |
| 市場性・競争力 |
|  |
| 地域経済に対する貢献・波及効果、雇用効果 |
|  |

**４　特記事項**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ① | 補助金名 |  | 事業主体（関係省庁） |  |
| テーマ名 |  | 実施期間 |  |
| ② | 補助金名 |  | 事業主体（関係省庁） |  |
| テーマ名 |  | 実施期間 |  |

**５　事業の内容**

**（１）新規性・革新性**

①新商品・新サービスの概要

ア　概要

イ　ターゲット

ウ　場面／価値

②新規性・革新性

**（２）事業計画の熟度**

①開発に至った動機・必要性

②これまでの開発経緯や進行状況

③事業化における課題

④課題解決方法

⑤スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 具体的な実施内容 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**（３）経営体制**

①事業実施における体制及び人員等

②協力・提携（予定）企業及び役割分担等

**（４）市場性・競争力**

①市場性

ア　ターゲットとする市場規模と成長性

イ　予想利用率

ウ　予想単価

②競争力

ア　既存商品／類似品との差別化

イ　新商品・新サービスの販売方法

**（５）地域経済に対する貢献・波及効果、雇用効果**

【事業計画書添付書類様式１】

事業計画書

**１　交付対象者の概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者名 | 住　所 | 〒○○○―○○○○ 紀の川市○○○町△－△ |
|
| (ふりがな) | ○○○かぶしきかいしゃ　だいひょうとりしまりやく　やまだ　たろう |
| 名称 | ○○○株式会社　代表取締役　山田　太郎 |
| 従業員数 | ２０ | 人 | 直近の売上高 | 20,000 | 千円 | 資本金 | 10,000 | 千円 |
| 事業内容 | ※会社の主たる事業内容について、１～２行程度で記載してください。 |

**２　事業区分（※については選択してください。）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 中小企業者事業※ | 地域資源活用事業A | 地域資源活用事業B |
| 地域資源の名称 | モモ・ユズ | 地域資源の地域 | 紀の川市 |
| 和歌山県が指定した地域資源の活用の有無※ | 有 | 無 |

**３　事業の要約**

|  |
| --- |
| 新規性・革新性（２００～３００文字程度） |
| ※各項目が審査委員会における「選定基準」です。　 まずは、「５事業の内容」以降の事業計画書を作成し、それを２００～３００文字程度でまとめるようにしてください。 |
| 事業計画の熟度（２００～３００文字程度） |
|  |
| 経営体制（２００～３００文字程度） |
|  |
| 市場性・競争力（２００～３００文字程度） |
|  |
| 地域経済に対する貢献・波及効果、雇用効果（２００～３００文字程度） |
|  |

**４　特記事項**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ① | 補助金名 | 平成30年度わかやま中小企業元気ファンド助成金 | 事業主体（関係省庁） | 公益財団法人わかやま産業振興財団 |
| テーマ名 | ○○○○を活用した×××の商品開発 | 実施期間 | 2018年4月～2019年2月 |
| ② | 補助金名 | 平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金 | 事業主体（関係省庁） | 中小企業庁 |
| テーマ名 | ○○○の開発における×××の実現 | 実施期間 | 2019年11月～2020年1月 |

**５　事業の内容**

**（１）新規性・革新性**

①新商品・新サービスの概要

ア　概要

　　どのような新商品・新サービスを開発するのか、具体的に記載してください。

　　写真やイメージ図などを工夫して取り入れるようにしてください。

イ　ターゲット

どのような顧客や市場を新商品・新サービスのターゲットにするのかについて、明確に記載してください。

　　　　ターゲット：一般消費者

地理的要件（和歌山県内、近畿府県、全国、海外）や人口的要件（性別、年齢、所得）を考慮してください。

　　　　ターゲット：法人

　　　　　取引状況（既取引先、未取引先）、法人概要（形態、業種等）、所在地等を考慮してください。

ウ　場面／価値

新商品・新サービスを提供するに当たって、どのような場面で購入または利用されるかを具体的に記載してください。

また、どのような顧客ニーズを満たすのか記載してください。

　　　　（〇〇を解消、〇〇に満足、〇〇が十分、〇〇は解決など）

新商品・新サービスを得た顧客が得られるメリットについて、具体的に記載してください。

②新規性・革新性

新商品・新サービスのコンセプトの新規性・革新性について、具体的に記載してください。

既存市場の商品やサービスと比較し、新商品・新サービスの特徴や用途、その提供方法などがどのように優れているか、また、どのぐらい新しい取組であるかを詳細に記載してください。

**（２）事業計画の熟度**

①開発に至った動機・必要性

新商品・新サービスの開発を決意した動機やきっかけ／その必要性などについて、具体的に記載してください。

②これまでの開発経緯や進行状況

新商品・新サービスの開発における、これまでの進行状況を記載してください。

　　　どのぐらい開発を実施しているか、既に基礎的な部分の試行錯誤を実施しており、分かっていることなどについて記載してください。

③事業化における課題

新商品・新サービスを事業化するに当たっての目標を設定し、それを達成する上で、想定される問題（開発課題など）について、具体的に記載してください。

これまでの自社の技術・ノウハウから一歩進んでチャレンジしていかなければならないことや、開発課題だけでなく、コスト面や販売先などについても記載してください。

④課題解決方法

③の問題点に対し、どのような解決方法を考えているのかについて、具体的に記載してください。

また、解決が見込めるかについても、具体的（これまでの自社の技術・ノウハウを活用する、新たな技術を取り入れるなど）に記載してください。

さらには、本助成事業で機械装置を取得するのであれば、その必要性及びスペック等について、示してください。

⑤スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 具体的な実施内容 | 4月 | 5月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 |
| ①商品・仕様設計　○○○について考える。　×××を実施する。②原材料調達　○○、××を輸入する。③機械装置調達部品調達及び組立　　機械装置の発注、納品④試作開発　１回目は○月頃実施　２回目は○月頃実施⑤デザイン・パッケージ作成　⑥展示会・商談会出展　 サンプル評価 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

助成事業期間内（４月～２月）で、実際に取り組む内容について、項目を上げて具体的に記載してください。

時期については、⇒で記入するようにしてください。

**（参考）事業化までのイメージ**

|  |
| --- |
| **事業化する上での目標を設定****目標を達成する上での問題（開発課題）**及びその**解決方法**の明確化**①事業化に****おける問題点****問題①（場合によっては、問題②・③もある。）**項目１－１　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項目１－２　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項目１－３　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　問題①の解決　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**③スケジュール****②解決方法**（試作品等の開発、実験等）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**目標の達成**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（検証、評価試験、実証実験等）**事業化** |

**（３）経営体制**

①事業実施における体制及び人員等

本助成事業を進める上での体制・人員等を、体制図等を用いながら具体的に記載してください。

助成事業を実施する者の経験・能力・資格等や人材の確保の目処などを踏まえて記載してください。

②協力・提携（予定）企業及び役割分担等

事業パートナー（外注先・仕入先・販売先・専門家等）（予定）の名称とそれぞれの役割分担や支援・協力を受けることができる内容（決定・予定・打診中なども含めて）、ネットワークを築けているかなどについて、具体的に記載してください。

　　　できる限り体制図等を図式するにようにしてください。

**（４）市場性・競争力**

①市場性

ア　ターゲットとする市場規模と成長性

統計資料や消費者動向調査、これまでの自社における販売数などから算出してください。

具体的な数字を示した上、根拠となるような参考資料情報を記載するようにしてください。

新商品・新サービスがターゲットとする市場が今後、どの程度成長する見込みがあるかを具体的に記載してくだ　さい。　できる限り昨年度の市場規模と今年度の市場規模を比較した数字や市場動向調査資料などを根拠としながら、記載するようにしてください。

イ　予想利用率

顧客が新商品・新サービスを購入・利用する頻度（月○回、売上げの○%など）の予想を記載してください。

類似製品や自社既存製品などの毎月、毎週、毎日の利用回数などから推測し、具体的に記載してください。

ウ　予想単価

想定している単価（１台当たり、１個当たり、１箱（１０個入り）当たりなど）を記載してください。

類似製品や市場価格の単価を参考にしながら、記載してください。

②競争力

ア　既存商品／類似品との差別化

競合する製品・サービスを価格等も含めて列挙し、新商品・新サービスの差別化ポイントを具体的に記載してください。

イ　新商品・新サービスの販売方法

　　　 新商品・新サービスの販売方法／販売先見込／技術・ノウハウなどについて、具体的に記載してください。

**（５）地域経済に対する貢献・波及効果、雇用効果**

地域経済に対して貢献できるポイントや経済的な波及効果、自社や関連企業における雇用効果について、具体的に記載してください。